

# 取扱説明書

保管用

施工説明付き

## (LEDダウンライト)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

### お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。  
本説明書は大切に保管してください。

## ●安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



してはいけない内容です。

### 警告

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

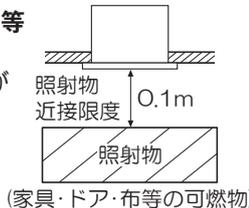
火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。



厳守

●器具の真下0.1m以内に家具等の可燃物を近づけない

照射物の変色・火災のおそれがあります。



(家具・ドア・布等の可燃物)



禁止

●周囲温度-5~35℃以外では使用しない

火災の原因となります。

●器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない

火災・感電・落下の原因となります。

●器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かない

火災の原因となります。



分解禁止

●器具の改造、部品の変更は行わない

火災・感電・落下等の原因となります。

### 注意

●照明器具には寿命があります。

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。



厳守

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。

点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。



厳守

●お手入れの際は電源を切る

通電状態で行うと感電の原因となります。

●器具の取外しは工事店、販売店に依頼する

器具の取外しには資格が必要です。



禁止

●LEDを直視しない

目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



接触禁止

●点灯中や消灯直後は器具にさわらない

やけどの原因となります。

# 施工説明

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。  
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

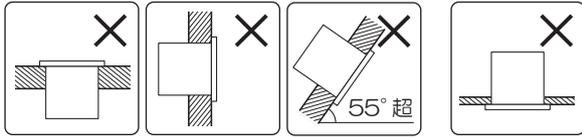
## ●安全上のご注意

必ずお守りください。

### ⚠ 警告

#### ●取付面

- 指定場所以外には取付けない  
火災・落下の原因となります。  
※この器具は天井取付専用(埋込式)です。



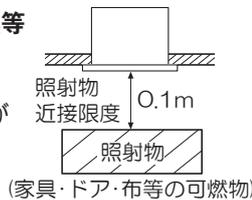
- 特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しない  
過熱して火災の原因となります。



- 取付面の強度を確保する  
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。

- 本体を指定寸法の天井に確実に取付ける  
落下の原因となります。

- 器具の真下0.1m以内に家具等の可燃物が近づかないように考慮して取付ける  
照射物の変色・火災のおそれがあります。



- ガス機器等の温度の高くなるものの上に取付けない  
火災の原因となります。

#### ●壁スイッチ



- 調光器を使用する場合は、当社製適合調光器を使用する  
指定以外の調光器と組み合わせて使用すると、火災の原因となります。  
※調光器の注意事項については、調光器の説明書をご確認ください。

#### ●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に  
行う  
取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

- 交流100ボルトで使用する  
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。

- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む  
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

- 送り総容量は6A以下にする(照明器具専用)  
容量オーバーした場合、火災の原因となります。

- 器具を天井の造営材・ダクト等の設備に接触させない  
火災・感電の原因となります。

- 屋内配線の電源・ケーブル等は器具に接触させない  
火災・感電の原因となります。



- 湿気が多い場所や屋外、浴室、サウナ風呂では使用しない  
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止 ※この器具は非防水です。

### ⚠ 注意



- 取付面が充分乾燥してから器具を取付ける  
乾燥が不十分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

## ●取付け前の注意事項について

### ⚠ 警告

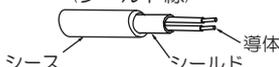


壁スイッチは必ず設けてください。

- 以下の天井に取付ける場合は、器具の取付ハネと天井の間に必ず補強材(鉄板、木片等)を入れてください。
  - ・ロックウール等のやわらかい天井
  - ・珪酸カルシウム板の天井
- 表面に1mm以上の凹凸がある天井はザグリをし、平らにしてください。そのまま取付けると、光モレ・気密性の低下の原因となります。

### あらかじめ専用信号線をご用意ください

CPEV-1P線  
(シールド線)



※信号線は必ずシールド線をご使用ください。調色用・調光用で各1本ずつ  
ご用意ください。送り配線をする場合は同様に各1本ずつご用意ください。

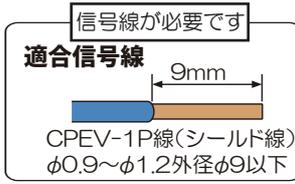
# ●配線方法

## <信号制御調光器(別売)を使用して調光・調色する場合>

●調光用、調色用の信号線用調光器が各1台ずつ必要です。

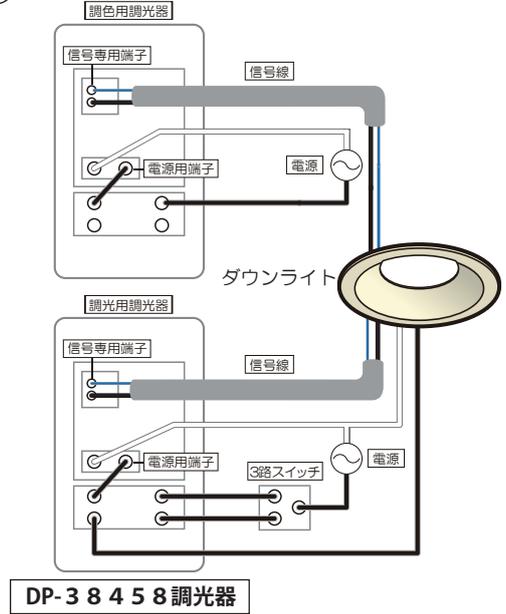
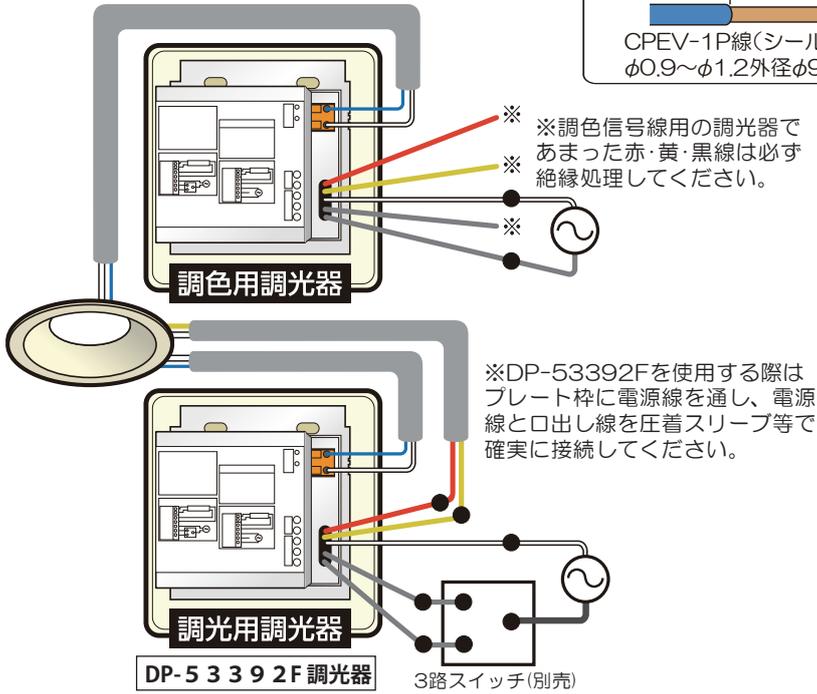
[2ヶ所でスイッチ操作する場合]

調光・調色で使用する場合は必ず調光用調光器から器具へ電源線をつなぎ、ON/OFFします。

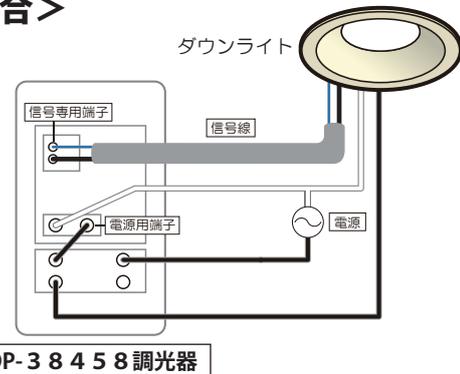
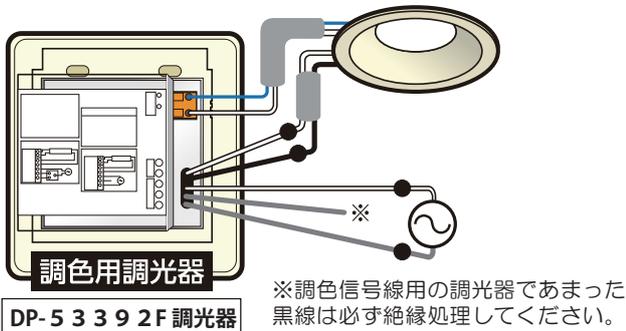


※器具の連結使用台数の制限はDP-53392Fは25台まで、DP-38458は12台までです。

※DP-53392Fに限り照明器具の電源を信号制御調光器のスイッチからとらない場合の接続台数は50台までです。

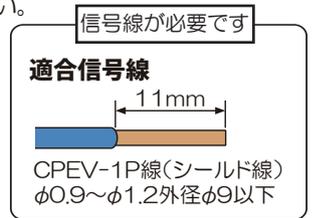
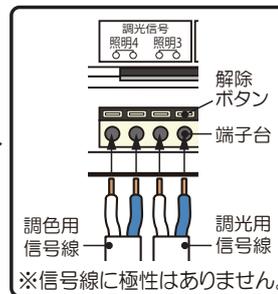
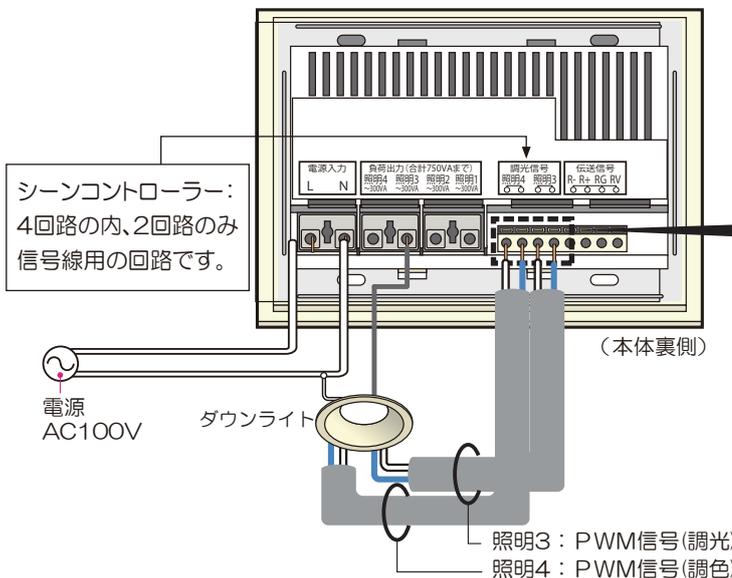


## <信号制御調光器(別売)を使用して調色のみ行う場合>



## <シーンコントローラ(別売)を使用する場合>

●必ず調色用信号線を調光信号の照明4に、調光用信号線を調光信号の照明3に差し込んでください。



注)接続可能台数は8台までです。断熱施工時は4台までです。それ以上の台数は使用できません。

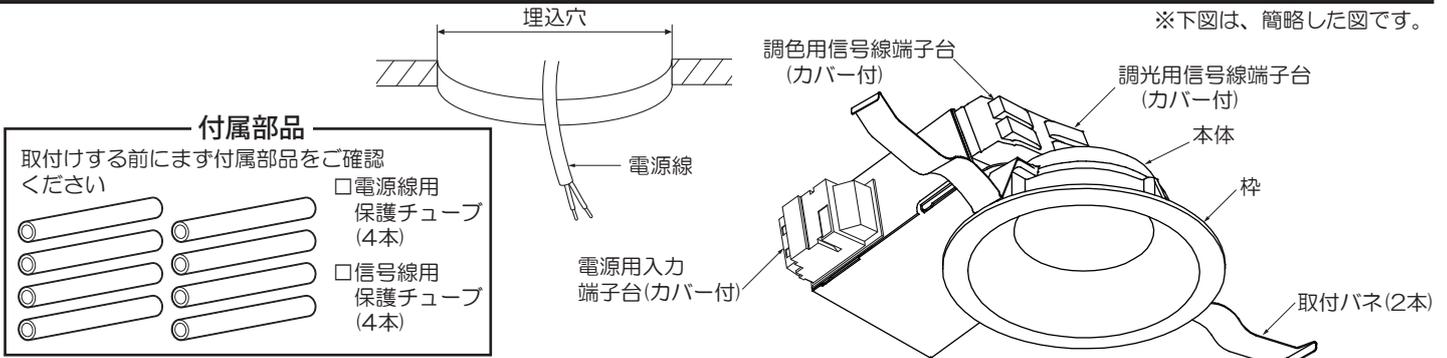
●調色のみ行う場合は調光信号の照明3の調光用信号線は不要です。

注)4回路の内、2回路のみ信号線用の回路です。

# ●各部のなまえと取付けかた

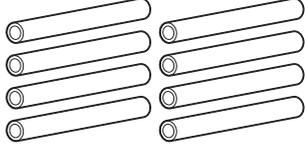
安全のため、電源を切ってから行ってください。

※下図は、簡略した図です。



## 付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



- 電源線用  
保護チューブ  
(4本)
- 信号線用  
保護チューブ  
(4本)

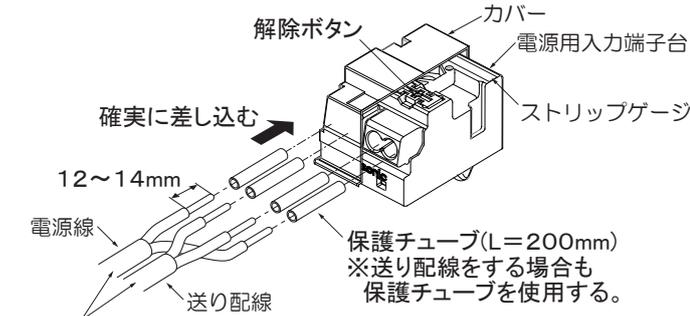
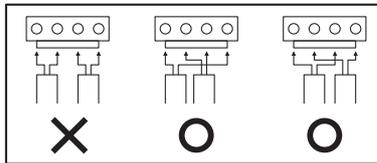
## 1) 天井面を確認する

●埋込穴と取付可能天井厚、埋込必要高を確認する。

埋込穴	取付可能天井厚	埋込必要高
φ100~102mm	5~25mm	80mm

## 2) 電源線を接続する

●電源線を電源用入力端子台に適切、確実に差し込む。  
※送り総容量は6A以下にしてください。(照明器具専用)

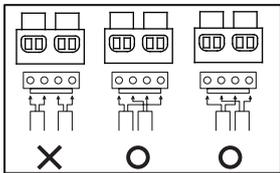


適合電線: VVF φ1.6・φ2.0 (単線専用)

電源線を取外す場合は、マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜く。

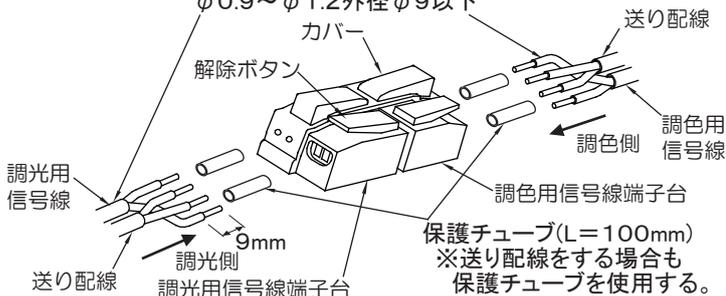
## 3) 信号線を接続する

●信号線を信号線端子台に適切、確実に差し込む。



適合信号線: CPEV-1P線(シールド線)

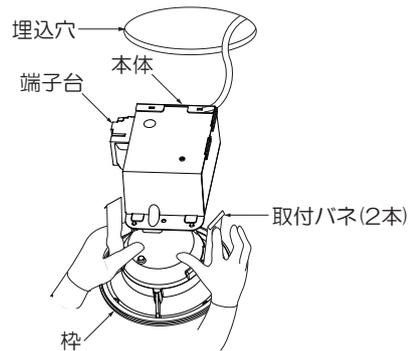
φ0.9~φ1.2外径φ9以下



信号線を取外す場合は、解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜く。

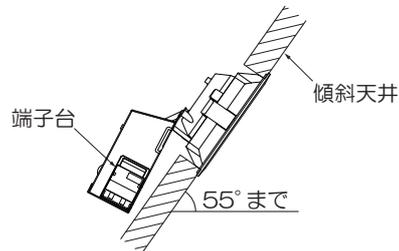
## 4) 本体を取付ける

●取付バネ(2本)を両手でせばめながら、埋込穴に本体を端子台側から挿入して押し上げる。



### <傾斜天井に取付ける場合>

●端子台が傾斜の下側になるように取付ける。  
※配光は傾斜天井対応になっておりません。



本体を取外す場合は、枠をゆっくり引き下げ、取付バネ(2本)を両手でせばめながら取外す。

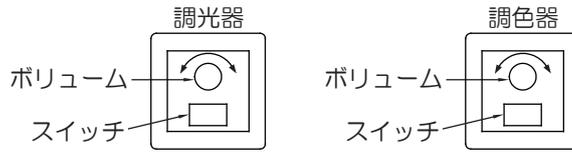
※信号線用調光器(DP-38458または、DP-53392F)の取付方法は信号線用調光器の取扱説明書を参照してください。

※シーンコントローラー(DP-37643)の取付方法はシーンコントローラーの取扱説明書を参照してください。

# ●ご使用方法

## 〈信号制御調光器〔DP-38458または、DP-53392F〕を使用する場合〉

- スイッチをONにしてください。
- ボリュームを回して明るさと光色を調整してください。



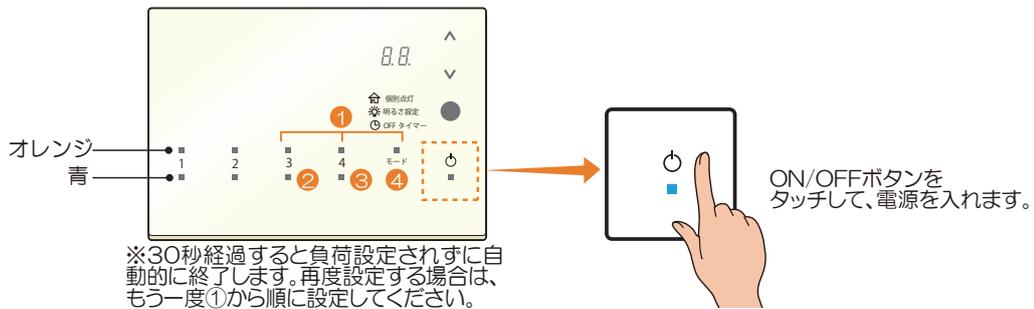
## 〈シーンコントローラー〔DP-37643〕を使用する場合〉

- シーンコントローラー(DP-37643)の取扱説明書をご覧ください。

### 負荷の設定について(調光・調色モードの設定について)

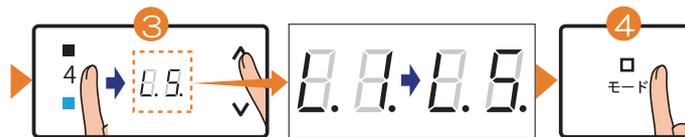
#### 〈モード「負荷設定」(F4)を呼び出す〉 → 調光調色モードの設定

- 各回路ごとの負荷の設定を行います。〔初期設定：L1〕
- ON/OFFボタンをタッチして、電源を入れてから下記操作を行ってください。



「3」・「4」ボタンとモードボタンを同時に3秒以上タッチします。デジタル表示部に「F4」が点灯し、シーン・回路選択の「4」ボタンが点滅します。これで負荷の設定モードが呼び出されました。

シーン・回路選択の「3」ボタンを選び、「↑」「↓」ボタンをタッチして「L5」に設定します。

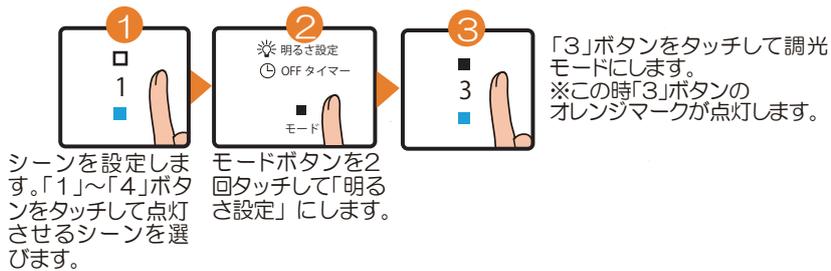
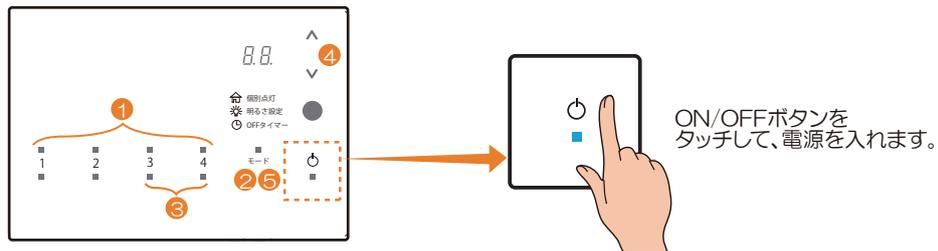


シーン・回路選択の「4」ボタンを選び、「↑」「↓」ボタンをタッチして「L5」に設定します。選んだ回路のシーン・回路選択ボタンが点灯します。

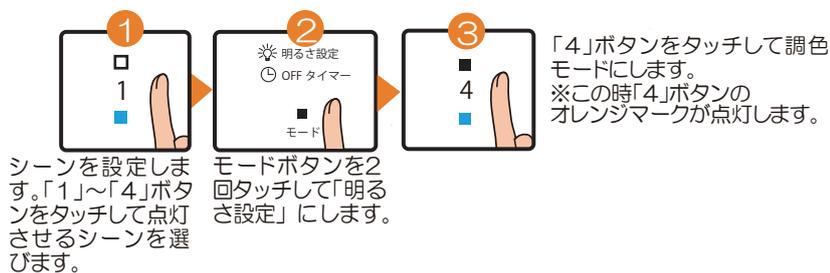
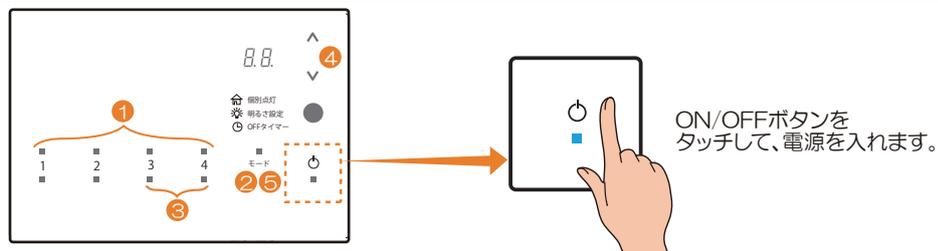
モードボタンを1回タッチして終了します。

## 明るさ設定について

- 各シーンの明るさを回路ごとに設定します。  
(DP-37643の取扱説明書P4「①電源を入れる」からP5「明るさ設定について」を参照してください)



## 光色設定について



### 〈その他の器具と組み合わせて使用する場合〉

- シーンコントローラー〔DP-37643〕の説明書を参照してください。

## 〈故障かな?と思ったら〉

現象	考えられる原因	処置
本体LEDが点灯しない	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。
	電源線を間違えて調光・調色信号端子に接続している。	本器が壊れている可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
LEDがちらつく	シーンコントローラー(DP-37643)の「明るさ設定」「光色設定」が「1」～「9」になっている。	明るさ設定又は光色設定を「10」以上にしてください。 (6ページ「明るさ設定について」を参照してください)
	負荷設定が間違っている。	調光調色ダウンライトでは、「F4」の負荷設定を「L5」にしてください。(※1)
シーンコントローラーで調光や調色の操作ができない	負荷設定が間違っている。	調光調色ダウンライトでは、「F4」の負荷設定を「L5」にしてください。(※1)
	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
信号線用調光器で調光や調色の操作ができない	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
	信号調光器のスイッチがOFFになっている。	スイッチを入れてください。(※2)

※1. モード「負荷設定」をする。(詳細はP5の「負荷設定について」を参照してください)

- 調光・調色の場合、シーン回路選択ボタン「3」「4」を「L5」にする。
- 調色の場合、シーン回路選択ボタン「4」を「L5」にする。

※2. 信号調光器2台を使用して、調光と調色を行う場合、スイッチが2台ともONであることを確認してください。

調光側の信号調光器がOFFの場合、点灯しません。

調色側の信号調光器がOFFの場合、昼白色状態から調色操作ができなくなります。

# ●ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません。

## 〔器具自体の留意点〕

- LEDはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさ、点灯時間(始動時間)が異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は電源を切り、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取替えはできません。
- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

## 〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
- リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなる。
- トランシーバやラジオコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

# ●点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
  - ・LEDが切れていませんか。
  - ・正常に点灯しますか。
  - ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
  - ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
  - ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。  
※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。変色・破損の原因となります。

# ●仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品番	定格電圧	周波数	消費電力	入力電流	LED	枠
DDL-4245FW	AC 100V	50/60 Hz共用	6.7W	0.07A	電球色(2700K)~昼白色(5000K)	白塗装
DDL-4245FB						黒塗装

- LED光源寿命は、50,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 異常温度防止機能付です。
- 別売シーンコントローラー(DP-37643)・シーンコントローラー子機(DP-37987)又は、別売信号制御調光器(DP-38458・DP-53392F)を使用で、調色は昼白色(5000K)~電球色(2700K)、調光は5%~100%まで可能です。

# ●保証について

- この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。  
※保証期間の例外  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について  
保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間  
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。  
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

# ●商品についてのご相談

CSセンター(0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

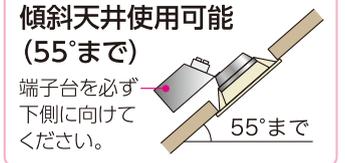
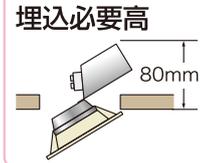
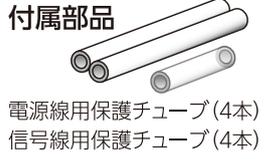
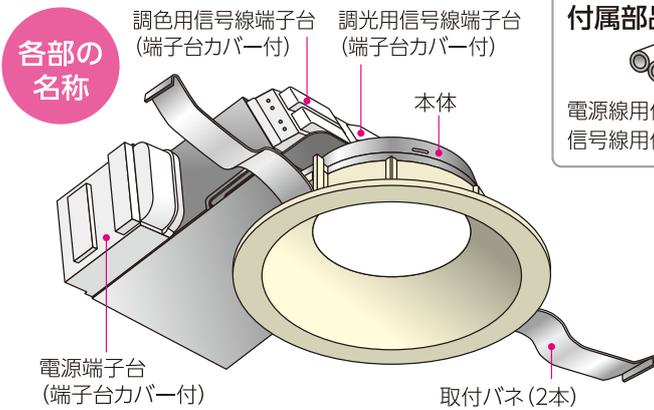
受付時間(月~金曜)9:00~17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

品番	<b>DDL-4245FW</b>	DP-37643 (シーンコントローラー)
品番	<b>DDL-4246FW</b>	DP-36366F (信号制御調光器)
		DP-53392E (信号制御調光器)

## 日常からくつろぎのあかりまで住空間の様々なシーンを演出する調色・調光ダウンライト

シーンコントローラー (DP-37154E) 又は、信号制御調光器 (DP-36366F、DP-53392E) を使用して

- 光色が変わります / 昼白色 (5000k) ~ 電球色 (2700k)
- 明るさが変わります / 5% ~ 100% まで



あらかじめ専用信号線をご用意ください。(別売)

### CPEV-1P線 (シールド線)



注) 信号線は必ずシールド線をご使用ください。指定以外の信号線を使用した場合、環境によってはちらつきが発生する場合があります。調色用・調光用で各1本ずつご用意ください。送り配線をする場合は同様に各1本ずつご用意ください。

## 手順1

## 電源をつなぐ

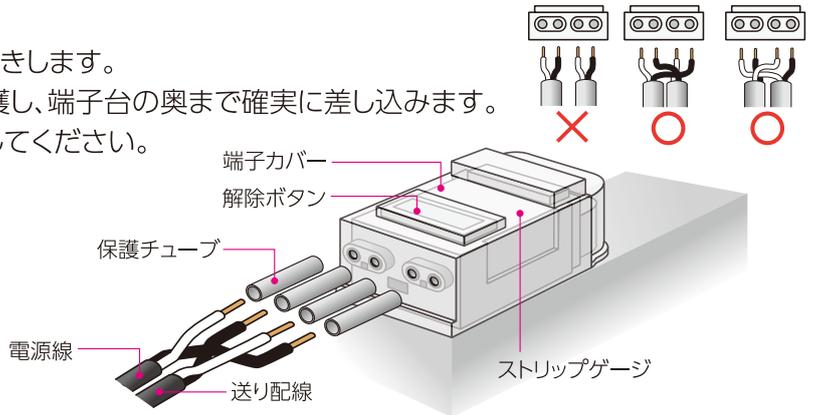
- 必ず電源を切ってから作業してください。
  - 適合電線をストリップゲージに合わせて段むきします。
  - 付属の保護チューブ (白: L=200mm) で保護し、端子台の奥まで確実に差し込みます。
- ※ 送り配線をする場合も保護チューブを使用してください。

**適合電線**  
単線専用  
φ1.6・φ2.0

14mm~15mm

### ※ 電源線を取外す場合

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜きます。



## 手順2

## 信号線をつなぐ

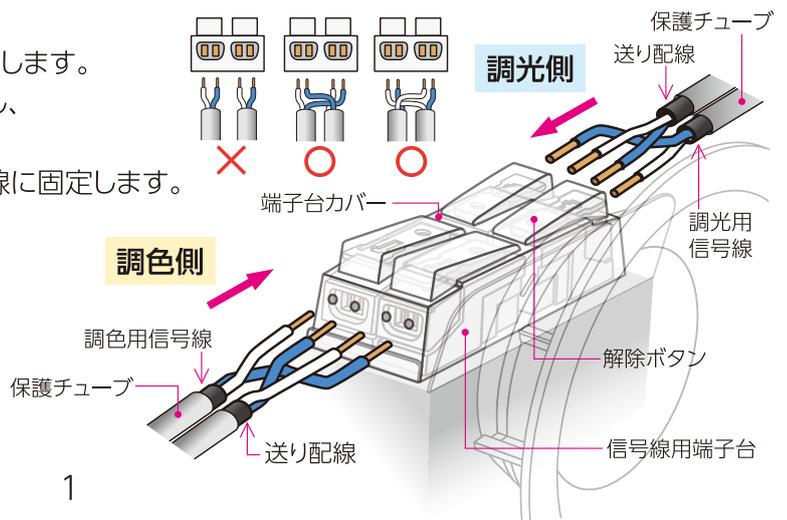
- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 適合信号線をストリップゲージに合わせて段むきします。
- 付属の保護チューブ (透明: L=100mm) で保護し、端子台の奥まで確実に差し込みます。
- テープ等で保護チューブが動かないように信号線に固定します。

**適合信号線**  
CPEV-1P線 (シールド線)  
φ0.9~φ1.2、外径φ9以下

9mm

### ※ 信号線を取外す場合

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜きます。

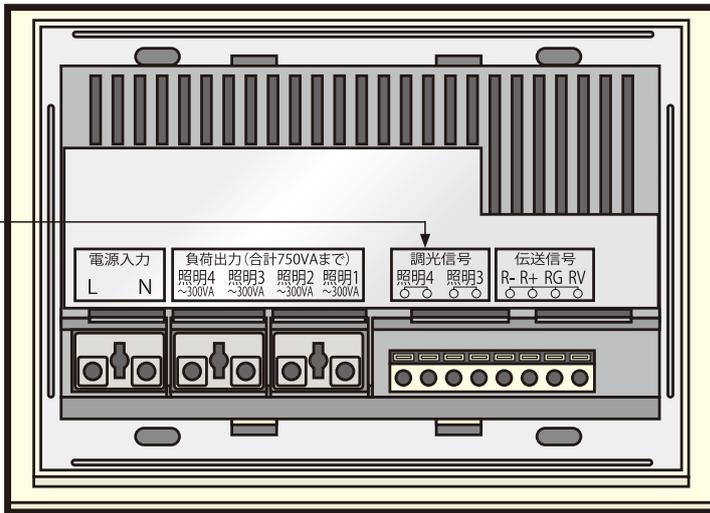


# 手順3

# シーンコントローラーにつなぐ

シーンコントローラー (DP-37643) は別売です。別途ご用意ください。

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 電線をストリップゲージに合わせて11mm段むきします。
- 端子台の奥まで確実に差し込みます。

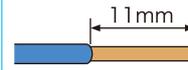


(本体裏側)

シーンコントローラー：4回路の内、2回路のみ信号線用の回路です。

### 適合信号線

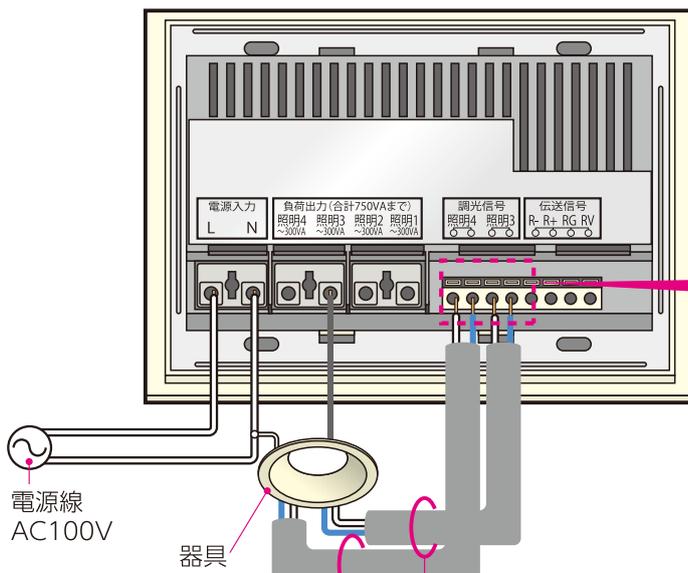
CPEV-1P線  
 (シールド線)  
 φ0.9~φ1.2  
 外径φ9以下



### ※信号線を取外す場合

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- ドライバー等で解除ボタンを押しながら、調光信号線を引き抜きます。

## 〈配線方法〉 下の図のようにつなぎます。



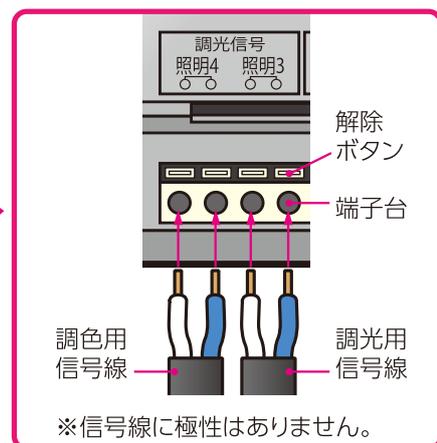
**注) 接続可能台数は8台までです。断熱施工時は4台までです。それ以上の台数は使用できません。**

照明3: PWM信号 (調光)

照明4: PWM信号 (調色)

注) 4回路の内、2回路のみ信号線用の回路です。

- 必ず調色用信号線を調光信号の照明4に、調光用信号線を調光信号の照明3に差し込んでください。



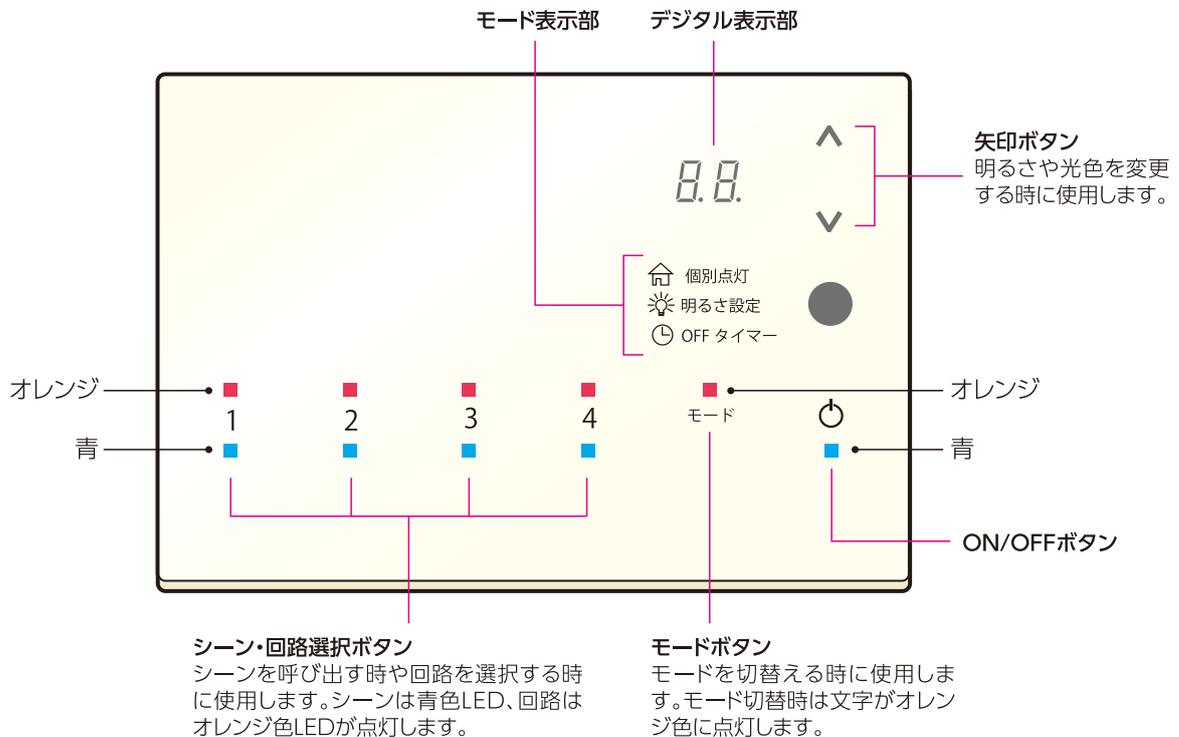
調色のみを行う場合は調光信号の照明3の調光用信号線は不要です。

- シーンコントローラーの子機 (DP-37987) を使用する場合は子機の取扱説明書をご覧ください。

# 手順4-1

# シーンコントローラーを使う

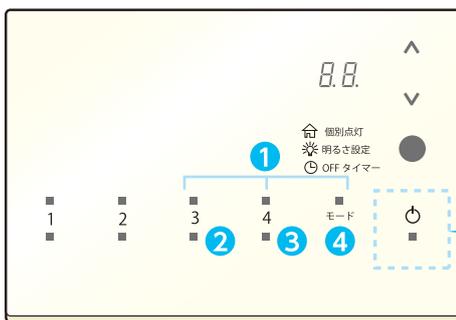
## 〈シーンコントローラーのパネルの紹介〉



●シーンコントローラー (DP-37643) の取扱説明書をご覧ください。

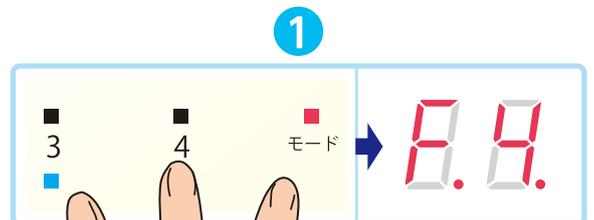
## シーンコントローラーの設定をする〈負荷の設定〉

●回路ごとに負荷の設定をします。(初期設定は「L1」になっています。)

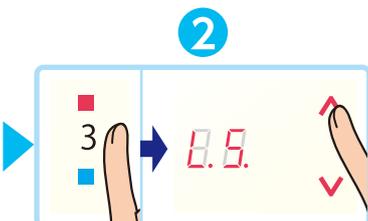


※30秒経過すると負荷設定されずに自動的に終了します。再度設定する場合は、もう一度①から順に設定してください。

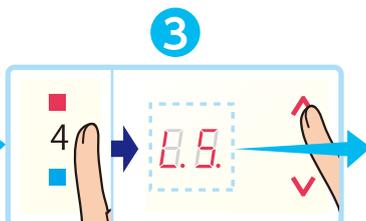
ON/OFFボタンをタッチして、電源を入れます。



[3]・[4]ボタンとモードボタンを同時に3秒以上タッチします。デジタル表示部に「F4」が点灯し、シーン・回路選択の「4」ボタンが点滅します。これで負荷の設定モードが呼び出されました。



シーン・回路選択の「3」ボタンを選び、「↑」「↓」ボタンをタッチして「L5」に設定します。



シーン・回路選択の「4」ボタンを選び、「↑」「↓」ボタンをタッチして「L5」に設定します。選んだ回路のシーン・回路選択ボタンが点灯します。

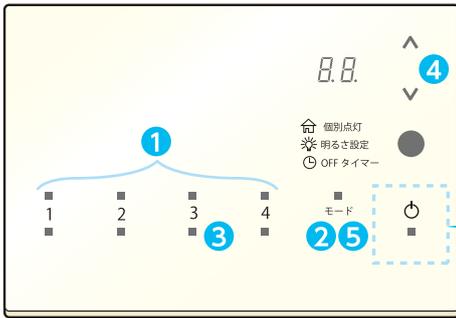


モードボタンを1回タッチして終了します。

# 手順4-2

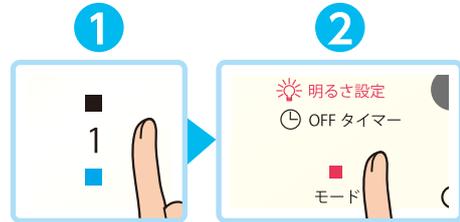
# シーンコントローラーを使う

## 明るさを設定する



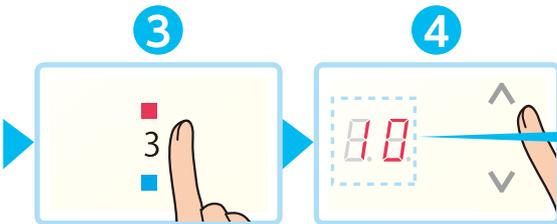
※30秒経過すると負荷設定されずに自動的に終了します。再度設定する場合は、もう一度①から順に設定してください。

ON/OFFボタンをタッチして、電源を入れます。



シーンを設定します。「1」～「4」ボタンをタッチして点灯させるシーンを選びます。

モードボタンを2回タッチして「明るさ設定」にします。

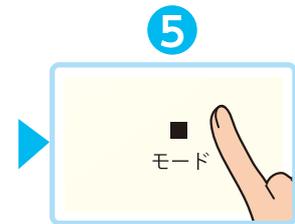


「3」ボタンをタッチして調光モードにします。  
※この時「3」ボタンのオレンジマークが点灯します。

「上」「下」ボタンをタッチして明るさを選びます。

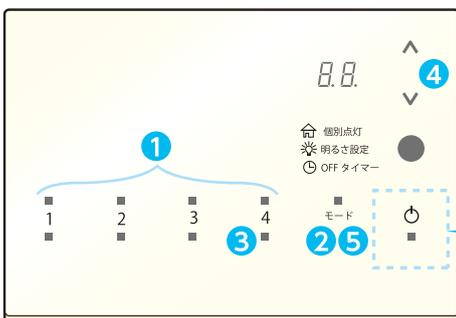


※100%は「FF」と表示されます。



「モード」を2回タッチして終了します。

## 光色を設定する



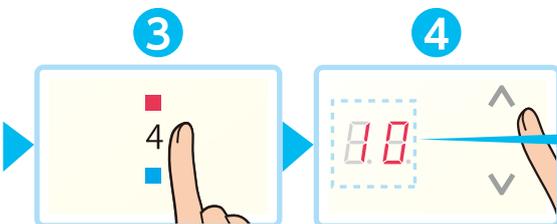
※30秒経過すると負荷設定されずに自動的に終了します。再度設定する場合は、もう一度①から順に設定してください。

ON/OFFボタンをタッチして、電源を入れます。



シーンを設定します。「1」～「4」ボタンをタッチして点灯させるシーンを選びます。

モードボタンを2回タッチして「明るさ設定」にします。

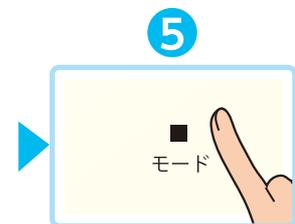


「4」ボタンをタッチして調色モードにします。  
※この時「4」ボタンのオレンジマークが点灯します。

「上」「下」ボタンをタッチして光色を選びます。



※昼白色は「FF」と表示されます。



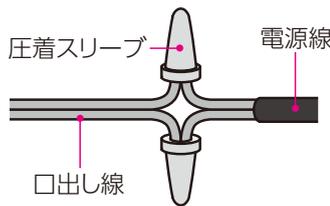
「モード」を2回タッチして終了します。

# 手順3

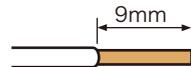
# 信号制御調光器につなぐ

※信号制御調光器(DP-36366F、またはDP-53392E)は別売です。別途ご用意ください。

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 電線をストリップゲージに合わせて9mm段むきします。
- プレート枠に電源線を通し、電源線と口出し線を圧着スリーブ等で確実につなぎます。



### 適合信号線



CPEV-1P線(シールド線)  
φ0.9~φ1.2、外径φ9以下

## 〈配線方法〉 調光・調色をする場合

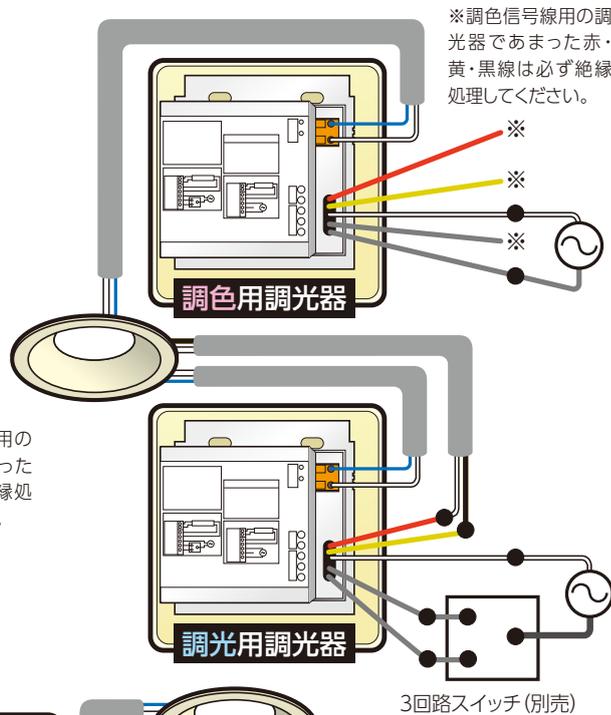
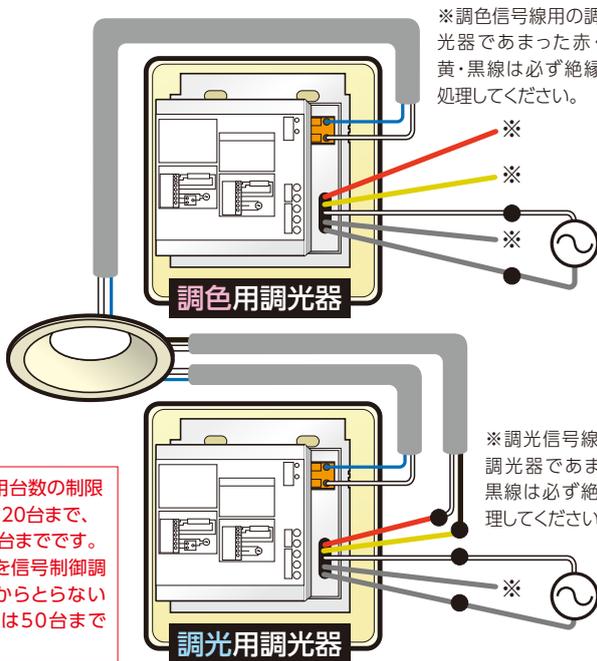
- 調光用、調色用の信号線用調光器が各1台ずつ必要です。

### 〈1ヶ所でON/OFF操作をする場合〉

調光・調色で使用する場合は必ず調光用調光器から器具へ電源線をつなぎ、ON/OFFします。

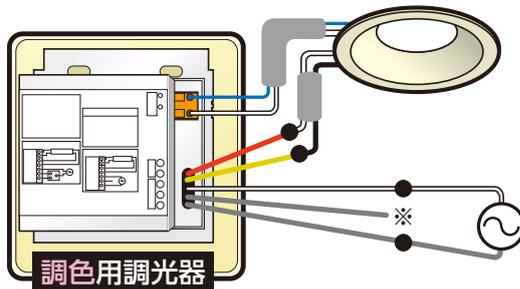
### 〈2ヶ所でON/OFF操作をする場合〉

調光・調色で使用する場合は必ず調光用調光器から器具へ電源線をつなぎ、ON/OFFします。



## 調色のみを行う場合

- 調色信号線用の調光器であまった黒線は必ず絶縁処理してください。



# 手順4

# 信号制御調光器を使う

- 信号線用調光器のスイッチをONにします。
- ボリュームを回して明るさと光色を調整します。

注)調色・調光する場合は必ず両方の信号線制御調光器のスイッチをONにして使用してください。

調光側のスイッチがOFFの場合、点灯しません。

調色側のスイッチがOFFの場合、昼白色状態から調色操作ができません。





# 故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
本体LEDが点灯しない	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。
	電源線を間違えて調光・調色信号端子に接続している。	本器が壊れている可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
LEDがちらつく	シーンコントローラー(DP-37643)の「明るさ設定」「光色設定」が[1]~[9]になっている。	明るさ設定または光色設定を[10]以上にしてください。(3ページ「明るさを設定する」を参照してください)
	シーンコントローラー(DP-37643)の負荷の設定が間違っている。	調光調色ダウンライトでは、「F4」の負荷の設定を「L5」にしてください。(※1)
シーンコントローラーで調光や調色の操作ができない	負荷の設定が間違っている。	調光調色ダウンライトでは、「F4」の負荷の設定を「L5」にしてください。(※1)
	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
信号制御調光器で操作できないまたは点灯しない	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
	信号制御調光器のスイッチがOFFになっている。	スイッチを入れてください。
	調光側の信号制御調光器がOFFになっている。	調光側の信号制御調光器のスイッチを入れてください。
信号制御調光器を使用した時に昼白色から電球色へ調色しない	調色側の信号制御調光器がOFFになっている。	調色側の信号制御調光器のスイッチを入れてください。

※1 モード「負荷の設定」をする。(詳細は3ページの「負荷の設定」を参照してください)

●シーン回路選択の「3」「4」ボタンを「L5」にしてください。

■照明器具の商品機能、性能に関するお問い合わせは、下記までお電話ください。

ナビダイヤル(全国共通)



**0570-003-937**

受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:00  
(土・日・祝・祭日、夏季、年末年始休業日を除く)

**DAIKO**

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル